



宮城野げんきっこたより

3月号

箱根教育合言葉
箱根を愛し・かしこく
やさしく・たくましく

令和7年3月19日

卒園式で歌う曲や、春の歌が各クラスから聞こえてきます。令和7年になってもう3か月。1月に入ったらあつという間に卒園の日がくると思っていたら、あと2日となりました。子ども達の心境といえば、それぞれの発達により一概に表現は同じではないのですが、いろいろな感情が湧き出ています。一人ひとり丁寧に心に寄り添い、保育をしていきたいです。ご家庭でも進級において楽しみなことを共有し、子どもたちが期待でいっぱいな新年度スタートとなりますよう、話題にしていだけたらと思います。



3月7日年長児お別れ遠足

わんぱくらんどへ！

最後の遠足は、園から箱根の森バス、湯本から電車、小田原から路線バスに乗り継ぎ、さくら組皆で行き先を決めたわんぱくらんどへ行ってきました。事前に地図を見て、どのルートを通っていけば皆の希望が通るのかと、自分の気持ちと友達の気持ちとの折り合いをつけながら、この日を楽しみに準備してきました。思ったより大きかったわんぱく橋を通り、忍者の修行の小田原城を制覇、ターザンロープは、ゴールのところでポーンと体が浮く感じが楽しく、長い行列ができていました。お弁当の時に皆で食べようと話していたら、一人へそを曲げた子が離れて食べようとしていた場面がありました。いつもならそのまま、突き進むところ、皆の思いを感じ取りその子が気持ちを自ら切り替え、皆の所にきて一緒に食べられたこと…その姿が見られて、成長を感じとても嬉しい気持ちになりました。子どもたちは今まで受けてきた沢山の愛情を力に、気持ちを立て直したり、いろいろなことに挑戦してみようとしたりと「やってみよう」とする姿になってきました。子ども達の成長を目の当たりにして感動しきりの3月です。

地域の方による読み聞かせ

宮城野保育園の子どもたちのためにとお時間を作ってください、地域の方による読み聞かせ。3月で今年度最後となりました。今いる子どもたちに読みたいという思いや季節にあった絵本選びなど、子ども達が思わず見たくなるような絵本をいつも選んで来てくださり感謝の気持ちでいっぱいです。子ども達から一年間ありがとうの気持ちを込めて、「ありがとうの花」の歌をプレゼントしました。また来年度も是非よろしくをお願いします！



0. 1.歳児の世界

よく乳児は、天気の良い日に旧園舎と呼んでいる昔の宮城野保育園跡地にお散歩に出かけます。広ーい跡地は開放的な気持ちになり、そこにある石を見つけては持ってみる、どのくらい掌で持てるのか試してみる、持ってみたら冷たい、硬い、重い等体の感覚を十分使っている様子が見られます。一緒にいる保育士の方を見て、言葉はなくとも「みてみて」とサインを送ってきます。どんな言葉をかけようか。何を感じているのか、この表現で的確なのか…保育者は子どもが感じたことに思いを馳せます。それが保育の醍醐味であり、子どもの感じた気持ちを言葉にして返したり同じ気持ちになって笑い合ったりそんな何気ない日常が豊かな心の育ちにつながっていくと思います。毎日の一コマが子どもの成長に関わってくることと思い丁寧に過ごしていきたいです。

